

<b>第2回 横浜市港南区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 会議録</b>	
日 時	令和2年6月2日（火）9時30分～13時45分
開 催 場 所	港南区役所 6階 603会議室
出 席 者	<p><b>【選定委員会委員】</b></p> <p>委員 長：横倉 聡 （東洋英和女学院大学 教授）</p> <p>委 員：石川 正二 （港南区保健活動推進員会 会長）</p> <p>井出 恵章 （港南区連合町内会長連絡協議会 代表）</p> <p>坂本 尚隆 （中小企業診断士）</p> <p>杉山 静枝 （港南区民生委員児童委員協議会 会長）</p> <p>中野 しずよ（認定NPO法人市民セクターよこはま 理事長）</p> <p>早坂 由美子（港南区障害者団体連絡会 会長）</p> <p>福山 朝子 （港南区地区社会福祉協議会分科会 会長）</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>港南区福祉保健課長 森山 裕正</p> <p>港南区福祉保健課事業企画担当係長 福岡 智央</p> <p>港南区福祉保健課事業企画担当 児島 智之、刑部 優美</p>
欠 席 者	無し
開 催 形 態	公開 一部非公開（応募団体の面接及び質疑応答は、面接審査を受けている団体以外の応募団体を除き公開）（傍聴者0人）
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 審査に係る確認</li> <li>2 面接審査（港南台、下永谷、東永谷、野庭、日下、港南中央、芹が谷地域ケアプラザ指定管理者応募団体のプレゼンテーション及び質疑応答）</li> <li>3 審査・選定（指定候補者の決定）、講評</li> </ol>
決 定 事 項	<p>指定管理者の候補者（以下「指定候補者」という。）として、次のとおり、横浜市港南区長に報告することとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 横浜市港南台地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人恩賜財団済生会 次点候補者：無し</li> <li>2 横浜市下永谷地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人同塵会 次点候補者：無し</li> <li>3 横浜市東永谷地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 次点候補者：無し</li> <li>4 横浜市野庭地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人ひまわり福祉会 次点候補者：無し</li> <li>5 横浜市日下地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人ル・プリ 次点候補者：無し</li> </ol>

	<p>6 横浜市港南中央地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人横浜市福祉サービス協会 次点候補者：無し</p> <p>7 横浜市芹が谷地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人親善福祉協会 次点候補者：無し</p>
議 事	<p><b>1 審査にかかる確認</b></p> <p>事務局から、公募の結果、各々の施設の現行の指定管理者からのみ応募書類の提出があった旨報告し、次の点について報告・確認した。</p> <p><b>(1) 財務評価及び各応募法人の予算項目等について</b> (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市（健康福祉局）が第三者機関に対して行った財務評価委託の結果を報告。併せて、財務有識者である委員から財務状況の評点及び理由について説明があった。</li> <li>・資格要件について、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、すべての応募法人について該当しないとの回答を受けた旨や市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。</li> </ul> <p><b>(2) 面接審査の進め方及び質問項目の確認</b> (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面接審査の全体の流れ、質疑応答の流れ、最終審査の流れについて説明。</li> <li>・今回は、1施設に対して1法人の応募となっているが、最低制限基準（「前期の指定期間の実績」を除く満点の総合得点の60%）に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。</li> </ul> <p><b>(3) その他</b></p> <p>東永谷地域ケアプラザの指定管理者に応募した社会福祉法人横浜市社会福祉協議会の理事に委員のうち1名が就任しているため当該施設の審査は残り7名の委員で審査を進めることとした。</p> <p><b>2 応募団体によるプレゼンテーション及び面接審査</b></p> <p>(1) 横浜市港南台地域ケアプラザ</p> <p>ア プレゼンテーション</p> <p>団体から、団体の概要、事業計画等について説明</p> <p>イ 主な質疑応答</p> <p>(委員) 運営する中で苦勞されている点や困っている点は何か。</p> <p>(団体) 地域に出てこない方の掘り出しに苦勞している。一度出てきた方が、新型コロナウイルス感染症の関係で再度疎遠になりつつあることが課題。</p> <p>(委員) 大規模災害時の福祉避難所での受入数や発災から時間が経った後</p>

のボランティアの必要性についてどう考えるか。

(団体) 新型コロナウイルス感染症発生以降のソーシャルディスタンスをとった場合、福祉避難所の受け入れ人数は変わる。ボランティアの受入れは登録ボランティア以外の方にもお願いをしている。

(委員) 区外ボランティアについてはどうか。

(団体) 避難される方は避難所に知っている人がいた方が安心するので、基本的には地域の方に依頼する。区外ボランティアには地域の片づけを依頼するなど住み分けする。

(委員) 要援護者の把握のための手段はあるか。また防災訓練には、障害者も参加しているか。

(団体) 要援護者の名簿がある。民生委員と情報を共有するとともに、港南台ひの特別支援学校とも協力体制をとっていく。

防災訓練には、視覚障害の方や知的障害の方も参加している。

## (2) 横浜市下永谷地域ケアプラザ

### ア プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

### イ 主な質疑応答

(委員) 民間事業者の移動販売の活動はユニークな活動であるが、稼働率はどうか？

(団体) 高齢者だけでなく子育て世代も利用しており、2月から毎週金曜開催しており順調な滑り出しとなった。

(委員) 新型コロナウイルス感染症への対策は何をしたか、そのご苦労はあるか。

(団体) 地域包括支援センターから自宅へ訪問する際は、消毒、マスク着用、距離をとるなどの対応を実施している。ご利用者の中には自宅への訪問を希望される方と希望されない方がおり個別に対応した。

(委員) 新型コロナウイルス感染症により相談件数に影響は出ているか。

(団体) 相談件数は多少減ったが、5月連休明けから増えた。

(委員) 新型コロナウイルス感染症により学校が休みになることでの相談はあったか。

(団体) 無かった。

## (3) 横浜市東永谷地域ケアプラザ

### ア プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

### イ 主な質疑応答

(委員) レモネードスタンドをやりたい高校生の思いの実現のため地域の

協力を得られるよう働きかけたとあるが、どのように働きかけたか。  
(団体) レモネードを売ることで得られる利益を、小児がんの支援に役立てたいという相談に対し、地域ケアプラザと関係のある自治会に対し、掲示板や回覧板での周知やチラシの配布を依頼した。

(委員) どこの地域でも居場所を探している。空き家があっても利用できない例も多いが、空き家を利用して居場所を作った例はあるか。

(団体) 東永谷地域ケアプラザでは、実際に空き家を借りたことはない。区域では「くじらの館」という元空き家の居場所がある。

(委員) 新型コロナウイルス感染症対策についてどんな努力をしているか。

(団体) 準備が出来次第、貸館を再開する。デイサービスでは3密を避け、ウィルスを外から持ち込まないように努力している。

#### (4) 横浜市野庭地域ケアプラザ

##### ア プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

##### イ 主な質疑応答

(委員) 子供をボランティアに預け、母が事業に参加しやすいようにするとあるが、母親世代を取り込むのは、地域の人材育成、人材発掘のアイデアとしてよいと思った。

(団体) 子育てママを助けたいと言う面もある。母子分離で体操をしたい、ゆっくりしたいという声を反映し、ボランティアに活躍してもらっている。

(委員) 野庭こども食堂について、どれくらいの間隔でやっているのか？

(団体) 毎月第3土曜日に、貸館登録団体と港南区社会福祉協議会と連携して実施している。

(委員) 新型コロナウイルス感染症の関係で今後、今までのようなやり方ではできなくなると思っている。一つ一つ考えて進めてほしい。

(団体) 安全に実施するという意味を再確認しながら、地域交流できる体制を考えていく。

(委員) 職員配置の実績値が低いようだが何があったか。

(団体) 一時期地域包括支援センターで職員の不在が続いたため。

#### (5) 横浜市日下地域ケアプラザ

##### ア プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

##### イ 主な質疑応答

(委員) 書類の誤送付が多いようだが、現在の改善状況を聞きたい。

(団体) 平成30年度に個人情報誤送付が何件か続いた。手続き等を改め

てマニュアル化し、その後誤送付は発生していない。

(委員) 新型コロナウイルス感染症対応で苦労したことや、やってみたことはあるか。

(団体) デイサービスもやっている所以利用者への感染が広がらないように配慮した。地域ケアプラザとしては、ホームページなどの電子媒体で広報を行うほか、地域の方と顔を合わせる場合の取り組み方法をこれから模索する。

(委員) 福祉避難所の定員について新型コロナウイルス感染症対策後の見直しも行っているようだが、詳しく聞かせてほしい。

(団体) 1人4平米の場所の確保をすることになるので、受入れ人数が減少すると想定している。感染症が流行している状況下での避難所運営も考えていく。

#### (6) 横浜市港南中央地域ケアプラザ

##### ア プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

##### イ 主な質疑応答

(委員) 一番苦労されている点と力を入れている点を教えてほしい。

(団体) 多くの団体とつながっていても区民に地域ケアプラザが浸透していないことを実感しており、課題と感じている。

鎌倉街道沿いの山坂が多く、在宅での生活が厳しくなる方々への支援に力を入れている。

(委員) 「ケアマネジャーが主治医に聞きづらいことを質問するなど、ドクターのいるサロンが役に立っている」とはどのようなことか。

(団体) ケアマネジャーが情報交換を行うサロンに、地域ケアプラザの協力医にも参加してもらい、医療に関する一般的な質問に答えるなど、相談に乗ってもらっている。

(委員) 職員のスキルアップも大切だが、どういったことをしているか。

(団体) 法人として人材は宝だと考えている。職種ごとや経験年数ごとに研修や意見交換を行っている。

(委員) 雇用面での悩みはあるか。

(団体) 福祉業界を目指す人材が少なく、雇用できないというのが最大の悩み。子どもたちへの福祉教育に力を入れ、福祉業界を目指す人が増えるといいと思う。

#### (7) 横浜市芹が谷地域ケアプラザ

##### ア プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

イ 主な質疑応答

(委員) 成年後見制度申し立ての必要な方への伴走支援とは具体的にどのようなことを行うのか。

(団体) 成年後見制度の申し立てについて地域ケアプラザとつながりのある行政書士とともに、地域ケアプラザの社会福祉士が利用者に寄り添って支援する。

(委員) 地域ケア会議は年におおよそ何回あるのか。

(団体) 年に3回。7月、11月、2月又は3月に開催している。

(委員) 新型コロナウイルス感染症対応のご苦勞など教えて欲しい。

(団体) 買い物に出ることができない方が多く、移動販売に来る方も多かったので、距離を取るなどの対策を行い生活の糧となる活動が継続するよう調整した。また、運動不足が心配なため、活動団体には定期的に電話で連絡し、状況確認を行っている。

**3 指定管理者の候補者の選定**

プレゼンテーション及び面接審査並びに事務局から前期の指定管理業務の実績に係る報告を受けて評価を行い、各委員の評価結果を集計する。

(1) 横浜市港南台地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点
指定候補者	社会福祉法人 恩賜財団済生会	1,864／2,440点 (最低制限基準1,392点)

(審査講評)

- ・地域の特性に合わせうまく連携できている。
- ・提出資料が良く練られた文章でわかりやすい。

(2) 横浜市下永谷地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点
指定候補者	社会福祉法人 同塵会	1,847／2,440点 (最低制限基準1,392点)

(審査講評)

- ・民間事業者による買い物支援など、買い物難民が増えていく中で率先した良い取り組みをしている。
- ・地域の特性に合わせうまく連携できているので、その内容が資料からも読み取れるとなお良い。

(3) 横浜市東永谷地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点
指定候補者	社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会	1,716／2,205 点 (最低制限基準 1,260 点)

(審査講評)

- ・地域とのつながりを続けてきたことが活動に表れている。
- ・地域の特性に合わせうまく連携できている。

(4) 横浜市野庭地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点
指定候補者	社会福祉法人 ひまわり福祉会	1,962／2,520 点 (最低制限基準 1,440 点)

(審査講評)

- ・野庭マップは、高齢者の歩く目的やモチベーションにつながるので良い活動だと思う。
- ・地域に密着していると感じた。

(5) 横浜市日下地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点
指定候補者	社会福祉法人 ル・プリ	1,894／2,440 点 (最低制限基準 1,392 点)

(審査講評)

- ・買い物が困難な方への移動販売が定着してきている。買い物に来た方の中でコミュニティが生まれ、安否確認にもつながっている。地域に密着していると感じた。

(6) 横浜市港南中央地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点
指定候補者	社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会	1,872／2,440 点 (最低制限基準 1,392 点)

(審査講評)

- ・男のセカンドライフ大学校は男性高齢者を中心に参加者の横のつながりもでき、生きがいにつながっており良い取り組みだと思う。

(7) 横浜市芹が谷地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点
指定候補者	社会福祉法人 親善福祉協会	1,954／2,400 点 (最低制限基準 1,368 点)

	<p>(審査講評)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男性が好きなことで集う事業を通じ、参加者の横のつながりづくりや、生きがいにつなげており良い取組だと思う。</li> </ul> <p>指定候補者の得点は、いずれも最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社会福祉法人恩賜財団済生会他（上記）を指定候補者として選定することを決定する。</p> <p><b>4 その他</b></p> <p>上記について、選定結果を区長へ報告することと、議事録の確認は委員長に一任することについて、委員一同了承。</p>
<p>資 料 ・ 特 記 事 項</p>	<p><b>1 資料</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 前期の指定管理業務の実績報告書</li> <li>(2) 応募団体から提出された指定管理料について</li> <li>(3) 財務分析結果報告書及び財務状況評価基準</li> <li>(4) 面接審査の進め方及び質問項目について</li> <li>(5) 港南区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 質疑</li> </ol> <p><b>2 特記事項</b></p> <p>選定結果を区長へ報告した後、応募団体に対して選定結果の通知を行うとともに、委員へも通知する。</p>